

Since 1972.2.24



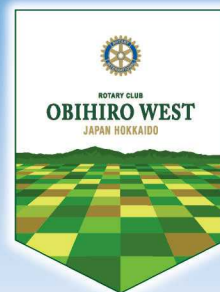
ロータリーは機会の扉を開く

帯広西ロータリークラブ

第2347回例会

2021.6.3

会報



Rotary



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

6月誕生祝

長平 圭太 親睦活動委員長

鈴木 享	会員	1942.6.22
横山 明美	会員	1948.6.21
田中 耕吾	会員	1956.6.18
奥 敏則	会員	1959.6.23
郷 誠一	会員	1969.6.25



私のところにも新型コロナワクチンの接種案内が到着し、さっそく小谷エレクトに予約の連絡しました。2週間後には第一回目のワクチン接種が受けられそうです。

高齢者のワクチン接種が遅れている中、政府が自衛隊を活用し、東京・大阪で大規模な接種会場を設置しました。そこでも1日15,000人ペースで進み始めています。その予約システムに朝日新聞と毎日新聞がダミーの予約番号を入れて予約ができた。予約はすぐ取り消したので迷惑はかけていない。いったいどうなっているんだと言う論調で批判していました。

私は前職で国、北海道と防災協定を結んでいましたし、実際に緊急工事で出動要請を受け現場に出たこともありました。そこではとりあえずこうしてほしいという役所の指示に従い施工します。たとえば地震で道路が寸断され、緊急車両も通れない時、でこぼこでも、1車線でも良いので車が走れるようにしてと要請されます。私見ですが、今は新型コロナによる緊急時です。自衛隊が出動し何とか多くの方にワクチンをと頑張っているとき、確かにシステムの不備はありましたが、まさか予約券もなしに、嘘の番号を入力する人がいるとは、想像していなかったのではないのでしょうか？

それなのに鬼の首を取ったかのように批判していました。その批判は、何とか緊急車両だけでも通れるようにとしているときに、一般車両が時速

6月結婚祝

大友 広明	会員	1979.6. 1
茨木 雅敏	会員	1979.6.10
中川 芳明	会員	1986.6.28
田中 耕吾	会員	1991.6.15
平田 宗利	会員	2002.6. 6
田中 利昭	会員	2004.6.13

会長報告

佐々木 和彦 会長

先週の土曜日、29日のYouTube地区大会はご覧になっていただけたでしょうか？オープニングでは私達西クラブの例会風景の写真が出ていました。



私は見ながら、各クラブ紹介で『佐々木和彦会長率いる帯広西ロータリークラブです』『ヤー』ができなかったことを少し残念に思いました。昨年の若林会長の時は、釧路の地で新型コロナがまだ流行する前だったので、一緒に『ヤー』をした記憶がよみがえりました。



会長 佐々木和彦
幹事 小野 辰夫

副会長 森 房明
副会長 太田 豊

会場監理理事 菊池 俊博
プログラム委員理事 熊切 宏樹

発行：広報委員会
委員長 松原 宏樹 (副)郷 誠一



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

100kmで走れるようにしろと言っているようで、私としては納得が行きませんでした。

様々な立場、いろいろな考えがあると思います。私が最近思ったことを述べさせていただき、会長報告とさせていただきます。

会務報告

小野 辰夫 幹事

- ①帯広北RC、6月4日、6月11日、6月18日(金)の例会は、休会と致します。
- ②帯広南RC、6月7日、6月14日(月)の例会は、休会と致します。
- ③帯広RC、6月9日(水)の例会は、zoom例会と致します。
- ④帯広東RC、6月8日(火)の例会は、休会と致します。



ニコニコ献金

宮前 友江 親睦活動委員

千葉 清秀 ロータリー情報委員長

本日担当例会です、よろしくお願ひします。



古田 敦則 会員

本日卓話させていただきます。よろしくお願ひ致します。

大友 広明 会員

結婚祝いありがとうございます。

宮前 友江 会員

ニコニコ発表させていただきました。

ニコニコ
献金

6月3日

8,000円

累計

550,000円 (6月3日現在)

プログラム

千葉 清秀 ロータリー情報委員長



本日のプログラムは「ロータリーの新たな方向性」という題名で古田会員に卓話をお願いいたしました。ロータリーの結束、行動、奉仕の基本精神は変わらないと思いますが、西ロータリークラブでは、新たな会員の職種や年齢が若い会員も増え来て、これからの活動に少しずつ変化が生まれてくると思い卓話をお願い致しました。それでは古田会員宜しくお願いいたします。

「ロータリーの新たな方向性」

古田 敦則 会員



近年 RI は時代変化の中で、「ロータリーの革新性と柔軟性」の導入という視点のもと、2016年以降の規定審議会で次々と定款、細則の変更を打ち出してきました。それらは、従来ロータリーの基本的な考え方を変える大きな変化でもあります。例えば、例会の運営方法について、何らかの形で月2回以上の例会を行えば、例会の形式や回数に制限はなくなりました。合わせて、会員の例会への出席要件が大幅に緩和されました(メーキャップの1年間の有効等) 又会員の資格についても、職業分類は廃止され、従来の「正会員」と「名誉会員」という分類から、新たに家族会員や法人会員、ローターアクターの二重会員身分の認証等、そのニーズに応じて会員種類を追加する

事が認められました。これらを通じて RI は、会員増強、寄付促進、奉仕プロジェクトの充実、公共イメージ向上等をさらに強調するようになってきました。他方、親睦を基盤としたクラブ奉仕や自己研鑽、更に職業奉仕を主体としたロータリーの伝統的な考え方がやや薄れつつあるというのが現状でもあります。

こうした改革は、一方でロータリーの組織維持のための改革ではないかとの批判があり、とりわけ伝統的なロータリーの在り方について強い思い入れのある日本では多くの反発があるのも事実です。しかし、情報化社会の出現などによる大きな社会変化の中で、会員の高齢化や先進国における会員やクラブの減少などが顕在化し、創立100年以上を経たロータリーそのものも時代に即した

変化が求められ始めているのかもしれませんが。

こうした変化の中で留意すべきは、これらのロータリー活動への柔軟性の導入には、等しくクラブの裁量権が与えられているという事です。すなわち、クラブの柔軟な運営を可能にする事によって、最もクラブや地域のニーズに沿った選択をそれぞれのクラブが行うという事です。従って、こうしたRI、世界のロータリーの新しい流れを否定的に捉えるのではなく、それに適応しつつ、従来の伝統的運営のやり方をふまえながら変化していく事こそ必要であると思います。

これから見ていただく映像は、2019年のRI国際協議会本会議におけるジョン・ヒューコ事務総長の「ロータリーの革新性と柔軟性」についてのプレゼンです。ロータリーの事務総長はRIの事務方トップであり、最大5年の任期を認められており、ある意味では単年度のRI会長より影響力を持つ人物であると言えます。RIが今何を考え、何を目指しているのかを理解するのに役に立つ映像ですので、これを見ていただいて本日のまとめとさせていただきます。

「ロータリーの革新性と柔軟性」

ジョン・ヒューコ RI 事務総長



革新性と柔軟性。この二つの言葉は、急変する環境に適応する組織について話をするとき、よく耳にする言葉です。ではロータリーにとって、これらは何を意味するのでしょうか。

ひと言でいえば、それはロータリーの未来を定義するものであり、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という、ロータリーの新しい戦略計画の基本的な柱です。

ロータリーの成長とあらゆる層の入会促進に取り組むのであれば、革新が必要となります。この革新は、様々な形で行われる必要があります。まずは、ロータリーの変革という考えを受け入れることです。それは、好ましい変化という文化を醸

成し、新たな現実や課題というニーズに適応することから始まります。次に革新は、変革を起こすテクノロジーにも関連してきます。これは持続的革新と呼ぶことができ、既存会員のためのプロダクト一式を絶えず発展させることを意味します。

ロータリーでは、この持続的革新を促進するため、3つの新しいツールを用いています。ロータリーのラーニングセンター、ロータリークラブ・セントラル、そして改良されたオンラインの入会候補者情報プログラムです。これらのツールは既に利用が可能となっているほか、多くの新しいツールが作成段階にあります。これらのツールを一貫して使用していくことは、未来の成長戦略にとっての重要な土台となります。

そして、ロータリーでめざすべき3つ目の革新があります。それは破壊的イノベーションと呼ばれるものです。ビジネスの世界においてそれはプロダクトまたはサービスに言及するもので、しばしばその初期設定においてとてもシンプルなものです。このようなプロダクトやサービスは、市場の底辺に根付き、そこから絶え間なく人気を得て、ついには大手の会社を追い抜くほどに拡大します。世界で見られる一つの例が、自家用車による配車サービスを提供するUberです。Uberは、顧客ニーズと、それに応えることを望む運転者を結び付ける方法を導入し、配車業界に大きな革新をもたらしました。同じように、世界レベルでつながりと友情を築き、行動する機会を探している人たちが大勢いる今日、ロータリーは破壊的イノベーターとなれる位置づけにあります。

ロータリークラブが将来どのようなになっているか、少し想像してみてください。例会のスケジュールや形式を変えることができたクラブを想像してみてください。または、例会の出席要件を緩めることができるクラブ、複数の会員種類を設けることができるクラブ、現役ローターアクターをロータリークラブ入会に招くことのできるクラブ、そして、規則の順守という物差しではなく、地域発展とクラブの成長という目標の達成度を物差しとして考えるクラブを想像してみてください。

あまり深く想像力を働かせる必要はありません。何故なら、このようなクラブは既に存在しているからです。ニュージーランドのNRGロータリークラブでは、家族も気軽に参加でき、移動型の例会時間と例会場所を採用しています。出席は

奨励されますが、強制はされません。アルバ・ロータリークラブでは、組織的に地元のローターアクトクラブとインターアクトクラブを活動に参加させるようにしています。これは、それらクラブのメンバーが円滑・自然にロータリークラブに入れるようにすることを目的としています。結果として、このロータリークラブでは、会員の半数が元ローターアクターです。そして、パスポートクラブと呼ばれるクラブもあります。3年前、米国カリフォルニア州の第5180地区は、毎週の例会への参加に興味を湧かない、または会費を支払う余裕がない若い会員の関心を引くクラブモデルについて考えました。そこで地区は、同州サクラメントに、会員20名のパスポートクラブを設立しました。そのクラブが例会を開くのは、なんと年にわずか6回のみで、オプションとして例会がない月に交流行事を開いています。そして、要件となっている6回の例会出席に加えて、パスポート会員は毎年、ロータリー財団に1,000ドルを寄付す

るか、ロータリークラブや地区内の非営利団体と一緒に少なくとも40時間の社会奉仕を行わなければなりません。このクラブの会員数は、3年間で3倍にも増えました。

長期的で持続的な成長戦略とは、どこからともなく現れるものではありません。革新性と柔軟性に対するクラブの熱意、クラブの革新性と柔軟性を導くための献身、また、発展とともに生じる地域社会の特定ニーズに最善のかたちで応えていくための献身、さらに、ローターアクターの力をロータリーで取り入れていくための熱意が必要となります。

私たちに求められるのは、既成概念を抜け出し、新しい革新的なクラブモデルによるロータリーの成長をめざし、新しいアプローチを試みることです。そうすれば、私たちはきっと、革新性、柔軟性、そして思慮に満ちた変化を通じて活路を切り開いていくことができるでしょう。

